

大阪城の夜を盛り上げるアイドルたちのパフォーマンス！ 「POP' N IDOL PARK」開催！

「大阪城夢祭」3日目の10月17日(月)には、注目アイドルグループが一堂に会する「POP' N IDOL PARK」が行われました。

出演したのはオープニングアクトを務めたBREAK TIME GIRLSのほか、OCHA NORMA、Lovelys、わーすた、TEAM SHACHI という面々。当日はあいにくの天候でしたが、重たい空を吹き飛ばす熱いパフォーマンスで、会場は大いに盛り上がりました。

まずは平均年齢16歳のBREAK TIME GIRLSのオープニングアクト。1曲目の「LUCKY GIRL」から会場はスタンディングで盛り上がります。「Baby Baby!! (short ver)」、「Chewing gum」の全3曲、元気いっぱいのパフォーマンスを見せてくれました。



OCHA NORMA (オチャ ノーマ) は、ハロー!プロジェクト所属の10人組アイドルグループ。1曲目はFM大阪2022年7月のPOWERPLAYに選出された「恋のクラウチングスタート」から。曲がスタートすると会場をカラフルなサイリウムが彩ります。自己紹介のあと、「大阪城のようにたくさんの人に愛してもらえるグループになれるようがんばります！」と始まったのは「デート前夜狂想曲」。そこから「素肌は熱帯夜」、「カクゴして!」、「この地球の平和を本気で願ってるんだよ!」と連続で聴かせます。ラストはセカンドシングルの中かから「うちの地元は地球じゃん!」を披露、10人のメンバーそれぞれが力いっぱいのステージングで盛り上げてくれました。

TikTokでも話題を読んでいるLovelys (ラブリーズ) の1曲目は、少し大人っぽい雰囲気スタートする「既読無視警察」。続いての「一発逆転」のあと、関西を中心に活動していることを伝え、大阪のいいところを聞かれたメンバーの宮崎さんは、MC中お客さんからツッコミが来ると話し「客席もMCをしているのは関西ならではのかな」と回答。「大阪はモノが安い、この間のバースデーライブの衣装は390円だった」と告白、会場を盛り上げます。続いて「みんなでいっしょにできるフリになってるので」と始まったのは「あと1分だけ!」。そしてクラブで盛り上がる「お願い魅惑のターゲット」からラストは会場全体がひとつになる「OH YEAH」で締めくくりました。



次はメンバーの猫耳が特徴のわーすた（The World Standard）がステージに。「最高に盛り上がっていきましょう！」と「最上級ぱらどっくす」、「マッシュ・ド・アート」と続けます。自己紹介のあとは、スマホでのみ撮影オッケーであることが伝えられ、SNSでの拡散も呼びかけ。続いて「大阪の人は腕上げがち」と始まったのは「ワンダフル・ワールド」。その言葉どおり、観客はサイリウムでレスポンスして盛り上げます。そこから「うるとらみらくるふあいなるアルティメットチョコビーむ」、「ハローto the world」、「遮二無二生きる！」とハイスピードの曲を畳み掛け、ラストまで駆け抜けました。

トリを飾るのは今年デビュー10周年を迎えた TEAM SHACHI。1曲目の「乙女受験戦争」から観客もステージと一体になってライブを盛り上げていきます。「こだま」では会場をアオリつつ、自己紹介。続いてはクールなラップも聴かせる「Rocket Queen feat. MCJ」へ。MCでは、この10日間のうち、6、7日間は大阪にいることを明かし、「道を覚えた」、「地図を見ないで歩ける」、「第二のふるさと」と、大阪愛を語ると、会場からは拍手が起こります。そして新曲で川谷絵音作詞作曲の「江戸女」から「まだまだ踊り足りないんじゃないですか！」とタテノリの「舞頂破」へ。ラストは「何回だって」と背中を押してくれる名曲「START」で締めくくりました。歌い終わったメンバーは「めっちゃ楽しかったね！」「もう終わっちゃうのがさびしい！」と話し、改めて会場に感謝すると「帰ったら温かいお湯につかってください！」と、悪天候のなかライブを盛り上げた観客に呼びかけていました。

